

Since 1976

横浜市立元石川小学校

令和4年1月31日



学校だより

2月号

HP <http://www.edu.city.yokohama.jp/sch/es/motoishikawa/>

横浜市青葉区美しが丘4-31-1

TEL 045(902)1821

変わるもの 変わらないもの

副校長 藤本 光子

先月、4年生の校外学習「心の教育 バレエ」に付き添いました。4年生にとって、電車を利用しての初めての行事です。今年度は、公共交通機関を利用する校外学習として、6年生の「歴史博物館見学」、5年生の「ふれあいコンサート」と続けて実施できました。年明けにこのような厳しい状況になり心配しましたが、まだ爆発的な感染のぎりぎり前だったこともあり、ガイドライン通り感染対策を万全に整え、何とか実施することができました。

バレエも素晴らしかったのですが、私が最も感動したのは、道中の子どもたちの様子です。電車の乗り継ぎの間に、かばんからマスクを取り出している子がいました。「どうしたの？」と声をかけると、「マスクが汚れた気がして、交換したんだ。」と返ってきました。当たり前のことかもしれませんが、先生に言われたからではなく、自分のタイミングでマスクを交換していることに驚きました。また、教師が準備していた消毒液とは別に、自分で消毒液を持参し、乗り降りの際にさっと手指を消毒している子もいました。水分補給をするときには、みんなに背を向けてさりげなく水筒を口にする子もいました。マスクを外す際の短い時間のことでしたが、周囲に配慮するそのふるまいは大人のようにでした。学校での感染対策の指導を生かし、様々なツールを組み合わせ、健康を守ろうとしています。自分の判断で身を守れるほど成長している姿に感心しました。

一番ほめたのは、電車でのマナーです。利用者が少ない時間帯だったこともあり、席に座ることができたのですが、車内が混み始めると自然に席を立つ子やお年寄りの方に「どうぞ」と席を譲る子が出てきました。お年寄りの方も「せっかくだから座ろうかな。ありがとう。」と言ってくださり、子どもたちもうれしそうでした。また、ずっと立ったままの友達に「代わろうか？」と声をかける子もいました。

私は、マナーは心遣いだと思っています。ルールだからやらなくてはいけない、ではなく、他人のことを考えてどう行動するのがよいか、という気持ちの上に成り立つものです。このような行事の際に、それをよく理解して行動に移すことのできる子どもたちは素晴らしいと感じました。その背景には、子どもたちの心ごと育てようとする担任の指導、さらに、普段からのご家庭での温かいご支援あってのことだと実感しています。

人を思いやる気持ちやよりよい自分になりたいという気持ちは、いつの時代になっても変わらず大切に育みたいですね。時代に合わせて柔軟に変えた方がよいもの、ずっと変わらずに大切にしていくもの、それぞれをじっくりと見極めながら生きることについて、子どもたちからたくさん教えてもらえた一日でした。